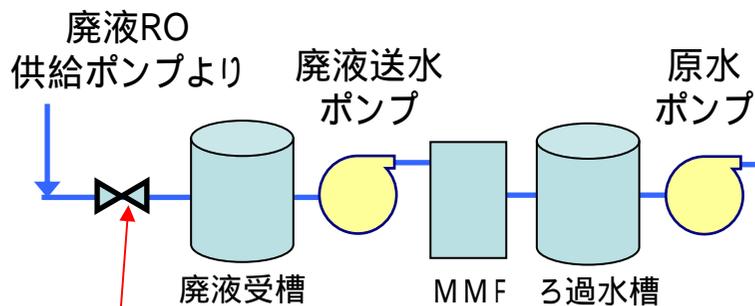


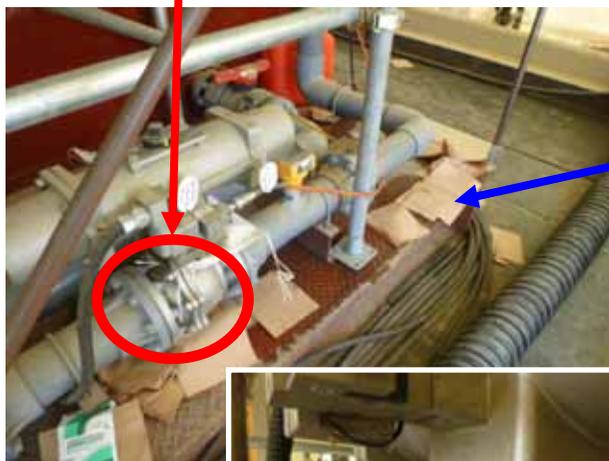
## 福島第一原子力発電所 淡水化装置(逆浸透膜式)No.2 廃液受槽入口弁グランド部からの漏えいについて

- 発生日：平成25年12月2日
- 場 所：淡水化装置（逆浸透膜式）No.2 ジャバラハウス内
- 時系列：
  - 9：15 淡水化装置No.2（以下、「RO-2」） 起動
  - 9：40 RO-2 起動後の現場確認のため当社社員がジャバラハウス内に入室したところ、廃液受槽入口側の空気式作動弁（RO-2 廃液受槽入口弁）のグランド部から、1秒に1滴程度、水が漏れていることを確認。
  - 9：42 RO-2 手動停止
  - 10：00頃 当該弁のグランド部の増締めを行い、漏えいが停止したことを確認。
  - 11：58頃 当該弁を養生後、動作確認と運転圧力による漏えい確認を実施し、問題がないことを確認
  - 12：12 RO-2に異常がないことを確認したことから、RO-2の運用を開始。
- 漏えい量 ：約1リットルと推定（約2m×約0.5m×約1mm[深さ]）  
漏えいした水は、吸水材で拭き取りを実施
- 推定原因 ：グランドパッキンの劣化と推定（弁の経年使用によりパッキンが微小摩耗）
- 今後の対応：今後、類似弁（淡水化装置運転時にON-OFFを繰り返す同型の弁）については、定期的な締付確認の実施を検討する。

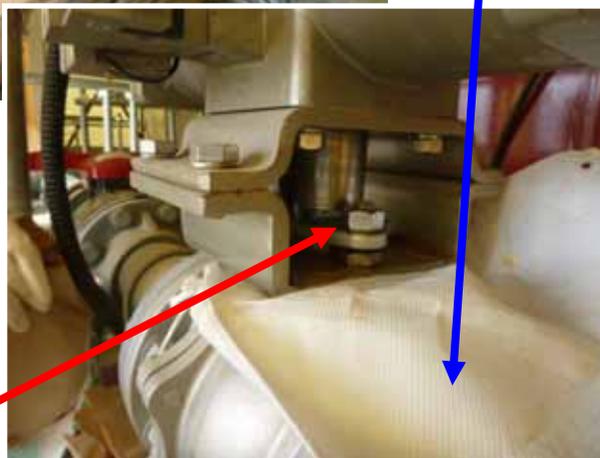
# 淡水化装置(逆浸透膜式)No.2 漏えい箇所



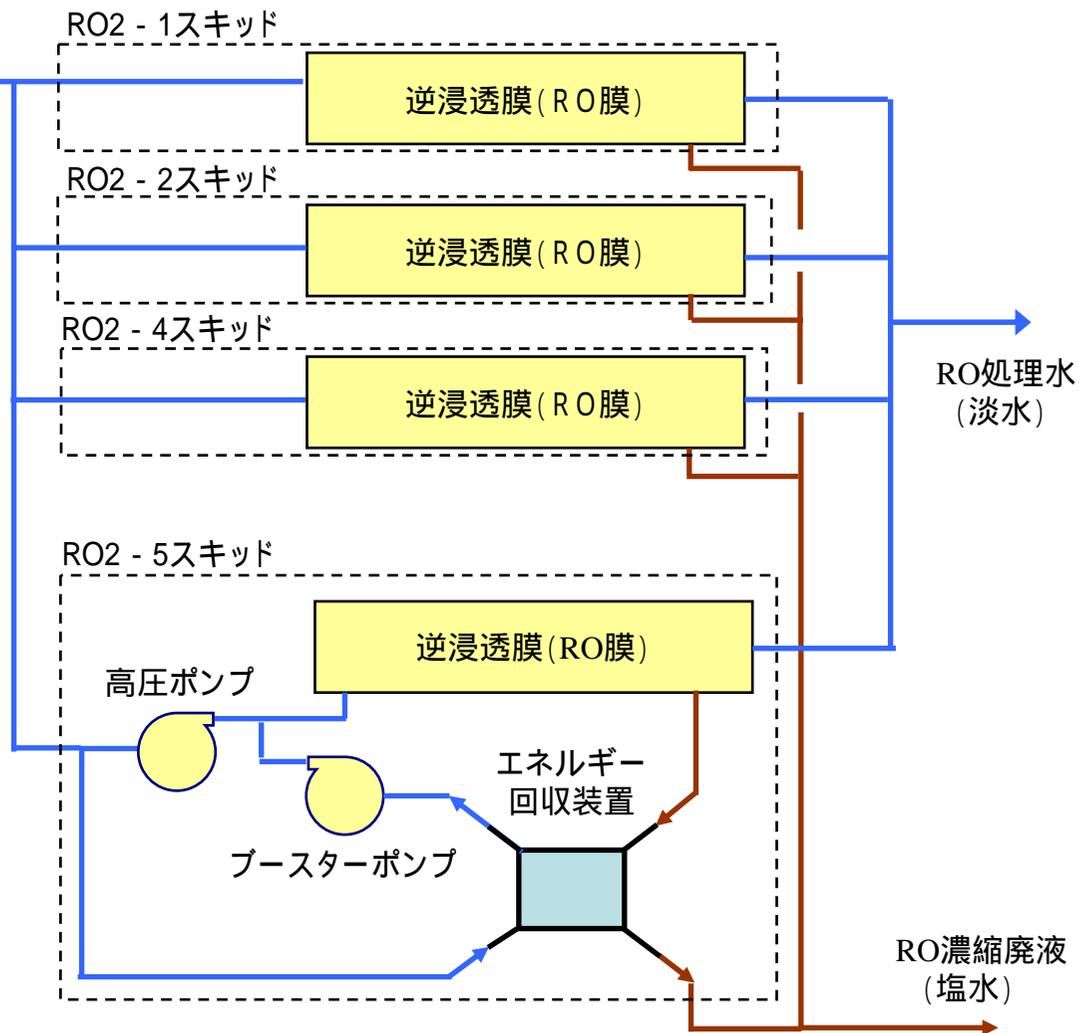
漏えい箇所  
(RO - 2 廃液受槽入口弁)



吸水材



漏えい箇所  
(RO - 2 廃液受槽入口弁グランド部)



撮影日:平成25年12月2日  
提供:東京電力株式会社